



令和8年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和8年2月13日

上場会社名 株式会社東京一番フーズ 上場取引所 東
 コード番号 3067 URL <https://www.tokyo-ichiban-foods.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂本 大地
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理部長 (氏名) 荒川 健人 (TEL) 03-5363-2132
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和8年9月期第1四半期の連結業績 (令和7年10月1日～令和7年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
8年9月期第1四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
7年9月期第1四半期	2,107	△3.4	198	27.8	211	8.0	143	△8.0
(注) 包括利益 8年9月期第1四半期		170百万円(△10.6%)	7年9月期第1四半期		153百万円(△11.1%)			

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
8年9月期第1四半期	円 銭	円 銭
7年9月期第1四半期	16.10	16.10
	17.54	17.54

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
8年9月期第1四半期	百万円	百万円	%
7年9月期	6,055	1,837	29.5
	5,605	1,670	28.9

(参考) 自己資本 8年9月期第1四半期 1,783百万円 7年9月期 1,620百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
7年9月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
8年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
8年9月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和8年9月期の連結業績予想 (令和7年10月1日～令和8年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	8年9月期 1Q	9,030,100株	7年9月期	9,030,100株
② 期末自己株式数	8年9月期 1Q	102,667株	7年9月期	106,472株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	8年9月期 1Q	8,926,756株	7年9月期 1Q	8,909,073株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当社グループは、飲食事業を起点に、卸売事業、加工事業、養殖事業を垂直に展開する6次産業化を推進しております。その目指すところは、SCM（サプライチェーンマネジメント）力のある垂直統合型の総合水産企業の展開です。

目的は、グループ飲食店舗のお客様、外販先（飲食業者、小売業者、卸売業者等）とダイレクトに情報共有することで、すべての事業においてお客様視点からの生産・物流等の業務の改善、イノベーションの推進による新たな価値の創造にあります。当社グループの飲食事業におきましては、水産物SCMによるトレースが確認できる安心・安全な食材の調達と職人の技を駆使した満足度の高い料理・サービスの提供をモットーとしております。また、ポテンシャルの高い海外市場にも引き続き目を向けており、2店舗目開業に向けた準備を進めております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における業績につきましては、売上高21億7百万円（前年同期比3.4%減）、営業利益1億98百万円（前年同期比27.8%増）、経常利益2億11百万円（前年同期比8.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億43百万円（前年同期比8.0%減）となりました。

当第1四半期連結累計期間における、各セグメントの業績は、次のとおりであります。

（飲食事業）

「泳ぎとらふぐ料理専門店とらふぐ亭」においては、子会社である（株）長崎ファームとの連携により安定供給される自社ブランド食材の供給に格段の高成果が現れており、仕入原価安定化に寄与しております。

「寿し常」においても、事業譲受以来行ってきた不採算店舗整理によって収益性を高めてきました。また、「とらふぐ亭」と同様に（株）長崎ファームとの連携による食材の安定供給による仕入原価安定化を図っております。

海外店舗である「WOKUNI」においては、賃金と諸物価高騰に加えて現地における税制改正内容についての不透明さが生じる中でも連結利益に寄与しており、1号店の約1.5倍のキャパシティを誇る2号店の開店準備を推進中です。

飲食事業における共通の取り組みとして、養殖事業を用いた原価管理・安定化のみならず店舗オペレーションや店舗毎の最適人員体制整備についての改善を行っており、人件費率及び原価率改善に寄与しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における飲食事業は、売上高18億63百万円（前年同期比1.2%減）、セグメント利益1億95百万円（前年同期比24.4%増）となりました。

(外販事業)

養殖事業においては、平戸養殖場における「平戸本まぐろ極海一番」の養殖において、より大型の個体の生育を目指し、生産・出荷数のコントロール並びに研究開発を行っており、中量級以上の出荷が増加傾向にあります。

また、卸売・加工部門においては国内のとらふぐ身欠き（除毒した製品）の需要の伸びを見据え、人員強化による体制整備に向けた先行投資を拡大いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における外販事業は、売上高2億30百万円（前年同期比20.2%減）、セグメント利益6百万円（前年同期はセグメント損失4百万円）となりました。

(不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業においては、東京都を中心とした居住用・事業用不動産についての賃貸が拡大しております。特に2025年9月期下期に完成、賃貸を開始した物件については入居率が上昇しており当期においては収益が帰属する期間が拡大しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における不動産賃貸事業は、売上高32百万円（前年同期比385.5%増）、セグメント利益19百万円（前年同期比561.5%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

(流動資産)

流動資産は前連結会計年度末に比べて5億17百万円減少し、23億68百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加1億72百万円、売掛金の増加3億17百万円及び前渡金の減少9億83百万円となります。

(固定資産)

固定資産は前連結会計年度末に比べて9億60百万円増加し、36億35百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による増加10億22百万円及び減価償却費の計上による固定資産の減少43百万円となります。

(繰延資産)

繰延資産は前連結会計年度末に比べて7百万円増加し、51百万円となりました。主な要因は、開業費の計上による増加7百万円となります。

(流動負債)

流動負債は前連結会計年度末に比べて2億66百万円増加し、15億98百万円となりました。主な要因は、買掛金の増加1億61百万円及び未払金の増加90百万円となります。

(固定負債)

固定負債は前連結会計年度末に比べて17百万円増加し、26億19百万円となりました。主な要因は、長期借入金の増加15百万円となります。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べて1億66百万円増加し、18億37百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益による増加1億43百万円となります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、飲食店舗においては、魅力のあるメニュー提供とサービス・利便性を強化することで、店舗とともに自宅需要を獲得することで、収益の拡大に努めてまいります。また、その基盤となる水産物調達においては、自社養殖のとらふぐや本まぐろを基軸とするSCMの推進による差別化に努め、また、そのスキームを海外における外販事業・卸売事業に展開してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和7年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (令和7年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	812,591	984,834
売掛金	259,288	576,959
仕掛品	611,173	550,364
原材料	109,049	144,511
前渡金	983,665	330
その他	110,403	111,480
流动資産合計	2,886,171	2,368,481
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,960,407	2,939,502
減価償却累計額	△1,382,843	△1,409,909
建物及び構築物（純額）	577,564	1,529,593
機械装置及び運搬具	123,901	118,237
減価償却累計額	△77,906	△71,753
機械装置及び運搬具（純額）	45,994	46,483
工具、器具及び備品	556,779	531,895
減価償却累計額	△452,642	△434,155
工具、器具及び備品（純額）	104,136	97,739
土地	889,517	904,387
建設仮勘定	412,459	460,939
有形固定資産合計	2,029,672	3,039,144
無形固定資産		
ソフトウエア	27,392	24,701
無形固定資産合計	27,392	24,701
投資その他の資産		
敷金及び保証金	459,354	459,139
破産更生債権等	28,490	29,017
繰延税金資産	35,952	35,129
その他	188,534	145,565
貸倒引当金	△94,232	△96,917
投資その他の資産合計	618,099	571,934
固定資産合計	2,675,164	3,635,781
繰延資産		
開業費	44,220	51,520
繰延資産合計	44,220	51,520
資産合計	5,605,557	6,055,782

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和7年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (令和7年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	146,917	308,780
短期借入金	250,000	250,000
1年内返済予定の長期借入金	471,776	458,226
未払金	229,007	319,613
未払法人税等	91,385	73,344
資産除去債務	51,824	51,840
その他	91,446	136,579
流動負債合計	1,332,356	1,598,384
固定負債		
長期借入金	2,368,618	2,384,334
資産除去債務	184,068	184,170
繰延税金負債	17,568	18,814
その他	32,199	32,587
固定負債合計	2,602,454	2,619,907
負債合計	3,934,811	4,218,292
純資産の部		
株主資本		
資本金	530,450	530,450
資本剰余金	440,134	440,303
利益剰余金	679,007	813,156
自己株式	△46,085	△43,953
株主資本合計	1,603,507	1,739,956
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	17,372	43,900
その他の包括利益累計額合計	17,372	43,900
新株予約権	49,865	53,633
純資産合計	1,670,745	1,837,490
負債純資産合計	5,605,557	6,055,782

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和6年10月1日 至 令和6年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和7年10月1日 至 令和7年12月31日)	(単位:千円)
売上高	2,181,181	2,107,376	
売上原価	845,540	751,979	
売上総利益	1,335,641	1,355,397	
販売費及び一般管理費			
給料及び手当	290,798	264,653	
雑給	185,379	184,339	
賞与引当金繰入額	30,055	–	
販売促進費	24,544	23,572	
地代家賃	196,892	183,253	
減価償却費	21,822	22,218	
その他	430,558	478,545	
販売費及び一般管理費合計	1,180,052	1,156,582	
営業利益	155,588	198,814	
営業外収益			
受取利息	667	13	
為替差益	14,371	18,585	
貸倒引当金戻入額	28,831	–	
その他	5,344	6,566	
営業外収益合計	49,214	25,165	
営業外費用			
支払利息	4,730	11,468	
その他	3,964	802	
営業外費用合計	8,694	12,271	
経常利益	196,108	211,708	
特別利益			
固定資産売却益	–	27	
新株予約権戻入益	9,315	–	
特別利益合計	9,315	27	
特別損失			
固定資産除却損	834	566	
特別損失合計	834	566	
税金等調整前四半期純利益	204,589	211,169	
法人税、住民税及び事業税	52,335	65,918	
法人税等調整額	△3,991	1,520	
法人税等合計	48,343	67,438	
四半期純利益	156,246	143,730	
親会社株主に帰属する四半期純利益	156,246	143,730	

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和6年10月1日 至 令和6年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和7年10月1日 至 令和7年12月31日)
四半期純利益	156,246	143,730
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△2,324	26,528
その他の包括利益合計	△2,324	26,528
四半期包括利益	153,921	170,258
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	153,921	170,258
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 令和6年10月1日 至 令和6年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期 連結損益計算書 計上額(注)2
	飲食事業	外販事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,885,901	288,606	6,673	2,181,181	—	2,181,181
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,885,901	288,606	6,673	2,181,181	—	2,181,181
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	159,329	△4,305	2,878	157,902	△2,313	155,588

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△2,313千円は、主としてセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 令和7年10月1日 至 令和7年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期 連結損益計算書 計上額(注)2
	飲食事業	外販事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,863,358	230,392	13,625	2,107,376	—	2,107,376
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	18,772	18,772	—	18,772
計	1,863,358	230,392	32,397	2,107,376	—	2,126,149
セグメント利益	195,069	6,154	19,039	220,263	△21,449	198,814

(注) 1. セグメント利益の調整額△21,449千円は、主としてセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和6年10月1日 至 令和6年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和7年10月1日 至 令和7年12月31日)
減価償却費	24,368千円	43,262千円